

令和4年度 第3回沼津市幼保小連携協議会 報告

1 日 時

令和5年2月8日(水) 14:30~16:15

2 場 所

沼津市役所水道部庁舎3階会議室

3 出席者

飛田 直和 (金岡小学校 校長) 内村 美恵子 (香貫小学校 教諭)
蓮池 千春 (金岡小学校 教諭) 関沢 美乃里 (第四小学校 教諭)
相原 恵 (大平幼稚園 主任教諭) 釜原 茜 (愛鷹幼稚園 主任教諭)
眞野 裕輝 (原町幼稚園 教諭) 金崎 万里子 (大岡保育所 副所長)
田中 美佐枝 (永明保育園主任保育士)
宮ヶ丁 恵美 (しんあい保育園 主任保育士)
杉浦 敬子 (幼保連携型認定こども園杉浦学園 副園長)
後藤 信俊 (幼保連携型認定こども園こずわ幼稚園 園長)
教育企画課、学校教育課、子育て支援課 (事務局)

4 協議内容

沼津市の幼保小連携の現状及び今後の取組について

幼保小連携推進の新たな取組(幼保小連携合同研修会)について
(事務局より)

これまでの幼保小連携の取組や各園、各校における現在の連携状況を踏まえ、ウィズコロナを見据えてどのように連携を推進していくとよいか。

新たな取組として、幼保小連携合同研修会を計画しているが、幼保小ブロック別連携協議会をどのように実施するのがよいか。

(主な意見)

幼保小連携の取組の現状について

(幼保) 小学校との交流は全くできていない。小学校と秋頃に子供と一緒に遊ぶことを予定していたが、コロナ禍の影響により中止となってしまった。年長は小学校を想像しながら園で過ごしているが、3月のお別れ遠足の時に、小学校を経由して目的地へ向かう予定である。(小学校でトイレを借りる)

(幼保) 保育士が1月に保護者対象の入学説明会に参加し、就学に向けて聞いた話を子供たちに伝えた。3月に、1年生からどんぐりごまと手紙をいただく予定である。

(幼保) 昨年までと同様に、1年生と絵手紙の交換を予定している。保護者対象の入学説明会に年長の担任が参加した。

(幼保) 小学校との交流会を予定していたが、3学期に入ってコロナ禍のため直接交流ができなかった。年長児が小学校を楽しみにできるような手紙やビデオを小学校に準備してもらい、いただく予定になっている。

(幼保) 園児と児童がかつてしていた交流全ては行っていないが、紙芝居やかけ足運動、業間遊びなどを通して少しずつ交流をしている。幼稚園と小学校の教職員で相互授業参観をしている。幼稚園側の先生は全員、小学校の参観をした。ただ、その後の事後研修は幼稚園、小学校別々なので、こうした交流をしていきたいと思う。

- (幼保) 園児と児童の交流はしていないが、小学校2年目の先生が園の参観にくる機会があった。
- (幼保) ここまでは特に交流はなかったが、2月から近隣の小学校に学校見学をお願いして受入れてもらっている。
- (幼保) 園児と児童の交流はしていないが、折り紙で作った物の交換や、卒園児の掲示物の交換などは行われる予定。新一年生からは交流をできるものからやりたいと考えている。
- (小) 幼稚園との交流を視野に入れていたが、直接の交流はできなかった。1年生はどんぐりごまを作って、学校のいいところを紹介する手紙を書き、それを教師が園に届けることを計画している。
- (小) 園と直接の交流はできなかったが、近隣の3園の年長に学校へ来てもらい、小学校の職員が校内を案内し、待っている時間に1年生が作成したビデオメッセージを見もらった。また、入学説明会へ園の先生に参加してもらった。
- (小) 本校は2学期から交流活動について様子を見ながら再開してきた。1年生が各園との交流を通して、誇らしい1年生の姿と、あこがれをもち、きらきらした表情の年長さんの姿をみられることで、交流の大切さを改めて感じた。交流では学校案内や学校の生活の紹介をした。また入学説明会に園の先生方も来てくれた。来年度も交流をしていきたい。
- (小) いくつかの園から学校見学の要望があり、授業参観などができる機会を作った。休み時間には1年生が園児に学校生活の様子をchromebookで紹介する場面もあった。

次年度の新たな取組「沼津市幼保小連携合同研修会」について

幼保小ブロック別連携協議会での協議内容

- (幼保) 子供たちの育てたい力をどうするか、幼保と小学校で子供の姿をどう共有するか等テーマを決めて幼保小連携の大切さについて共通した認識を持てるようにしたい。
- (幼保) 各園各校に幼保小連携の担当者ができることで、そこを窓口にして関係性を広げることができたらよい。
- (幼保) 研修会で交流が進むきっかけになれば嬉しい。交流日を決めるという具体的などころまで、市から声掛けをしてほしい。行事予定の交換だけでなく、教務レベルで日を合わせて実現したい。
- (幼保) 小さい頃からの積み重ねが目の前の子供であるという意識をもち、同じ方向性で子供との関わりができるようになりたいと思う。方向性を合わせる大切さを、こうした機会に共有できるようにしたい。
- (幼保) 「子供の育った姿」を共有することも大切だと思う。子供の見取り方だけでも幼稚園と小学校では違うと感ずるので、共有できる場としたい。
- (小) 幼保と小学校でお互いに知りたいことを伝え合う場としたり、それぞれが幼小接続で取り組んでいることを伝えたりすることで、そこから交流につなげていく。また、幼保と小学校の連携だけでなく、園同士の情報共有もできる。
- (小) 幼稚園の先生からすると、小学校の先生の仕事のことを知りたいという声も聞く。お互いが知っているようで、何も知らないなので、そんな交流からスタートでもいい。
- (小) 小学校はいつ交流する時間がつくれるか迷うところもあるが、子供を通して交流を進めることは賛成である。まずはこうした研修会から始めたい。